

教kyo文bun研kenだより

CONTENTS



サポートスタッフとの協働の推進に向けて

—神奈川県教育文化研究所

「カリキュラム総合改革委員会」(「教育制度・教職員問題」検討グループ)
報告書「神奈川県におけるサポートスタッフの現状と課題」より—

元横浜市立学校事務職員 佐野朝太郎

神奈川県教育文化研究所は、2013年度の教職員の多忙化解消に関する提言の中に「専門スタッフの充実と外部人材の活用等により教員の業務の精選と役割分担の明確化」を位置付けました。これを受け、2014年度から「教職員と教職員以外のスタッフとの協働の在り方に関する調査研究」を進め、2016年6月に「神奈川県におけるサポートスタッフの現状と課題」を報告しました。

これまで、サポートスタッフの配置は国の委託事業や国庫補助事業、地方財政措置、又は市町村による自主財源により推進されてきました。

2015年12月の中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」では、子どもを取り巻く諸課題への対応は、教員が授業に専念できない現状の下で教員の専門性だけでは対応が困難となっているとし、教員の専門性の向上とともに多様なスタッフの配置とチームとして職務を担う体制を整備することが提言されました。

今後、サポートスタッフの配置は拡充されていくことが予想されます。児童生徒を取り巻く多様化・複雑化する教育課題に対応するために、学校の状況を踏まえたより効果的なサポートスタッフ配置の促進が、また、教職員の多忙化の解消に向けた教職員とサポートスタッフの協働性を推進していくことが大切な課題となっていくと思います。



サポートスタッフとの協働の推進に向けて

—神奈川県教育文化研究所カリキュラム総合改革委員会(第2グループ)報告書「神奈川県におけるサポートスタッフの現状と課題」より—

元 横浜市立学校事務職員
佐野朝太郎

1 神奈川県内市町村におけるサポートスタッフの配置状況

学校には、学校教育法に規定されている教職員、学校保健安全法に規定されている学校医や薬剤師等、2014年の学校図書館法の改正により置くことが努力義務とされた「学校司書」などが配置されている。

なお、これら教職員について、県の基準に基づく国庫負担金等による配置に加えて単独経費による加配を行っている市町村も増加している。特に近年は市町村によるサポートスタッフの配置が進められてきた。

本研究では教職員と教職員以外のスタッフとの協働の在り方を研究の目的としたことから、教職員の加配として措置されている臨時的任用職員や非常勤職員、適応指導教室職員や教職員の指導等を目的として配置されているアドバイザーや講師等を除いたサポートスタッフについて調査した。

法令が規定する教職員等以外に、数十職種にも

及び職種を配置している市もあったが、この調査の目的としたサポートスタッフを抽出し配置目的別に分類したものが表1の16職種である。しかし、市町村独自の配置目的や職名もあり、分類するのは困難なものもあった。

なお、2015年12月の中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」において定義されたスクールカウンセラー等の専門スタッフ、サポートスタッフはこの16職種に全て含まれている。

こうしたサポートスタッフの配置は、国の緊急雇用創出事業(2001年度)として従来から配置のあった学校司書や外国語指導助手等に、学習支援、学校図書整理、ICT支援等の業務が新たに加わることにより拡大された。

その後は文部科学省の国庫補助事業等に引き継がれ、現在に至っている。

2 市町村によるサポートスタッフ配置の特徴

配置している職種の数は大規模市町村が多く、小規模市町村が少なくなる傾向にある。

全市町村で配置しているのは外国語指導助手のみであるが、スクールカウンセラーは、県により政令市を除く全市町村に配置されている。

学校司書、日本語指導員、通常学級・特別支援学級支援員は多くの市町村で配置している。また、

表1 平成26年度神奈川県全市町村小中学校におけるサポートスタッフ等配置計画の状況

職種分類(配置目的別)	資格等	全市町村配置数 予算合計(千円)	横	川	相	横	三	葉	厚	大	海	座	愛	清	鎌	藤	茅	寒	平	秦	伊	大	二	小	南	中	大	山	開	箱	真	湯			
			浜	崎	模	須	浦	山	木	和	老	間	瀬	川	倉	沢	川	野	大	宮	原	柄	井	田	北	成	根	鶴	河	原					
1 スクールカウンセラー等	・臨床心理士 ・准ずる者等	16 1,207,256	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2 心の相談員等	・教員、心理学専 攻大学生等	18 121,098			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○				
3 いじめ支援 非常勤講師等	・教員等	3 45,671			○				○															○											
4 スクールソーシャル ワーカー等	・社会福祉士等	13 145,166	○	○	○	○								○	○	○	○													○	○				
5 学校司書等	・司書等	23 613,034	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	
6 外国語指導助手等	・ネイティブ スピーカー等	33 2,459,926	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7 日本語指導員等	・教員、日本語指導 教員等	22 319,337	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8 部活動指導員等	・専門技術者、 競技経験者等	16 111,924	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 ICT支援員等	・有資格者、インス トラクター等	5 50,185			○				○															○											
10 学習指導員等	・教員等	15 728,449	○	○	○				○					○	○	○	○							○	○										
11 通常学級支援員 (介助員含む)等	・教員、 介助経験者等	22 900,253		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12 特別支援学級支援員 (介助員含む)等	・教員、 介助経験者等	25 624,390	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13 理科支援員等		3 106,999	○	○																															
14 学校体育指導 協力者等	・武道、 水泳技術者等	5 9,301		○	○				○						○																			○	
15 看護師等	・臨床経験者、 看護師等	4 47,244		○						○	○					○																			
16 安全対策囃託員等	・元警察官等	4 58,363		○						○																		○							
配置数合計・予算額		7,548,596	9	12	11	10	3	6	8	11	8	8	8	6	10	3	9	10	8	4	9	6	8	6	5	7	8	5	4	3	2	3	6	4	5

※市町村によって、複数の職種に係る予算が一括して計上されている場合がある。その場合主たる職種に算入している。

県による特別支援教育に係わる非常勤講師も多くの市町村に配置されている。

3 サポートスタッフ予算の市町村比較等

一般会計予算が最も大きな横浜市は最も小さな清川村の600倍を超え、児童生徒数は900倍を超えている。

こうしたことから、表2ではサポートスタッフ予算などの措置状況を各市町村の教育費に占める割合や、その教育費の一般会計に占める割合を比較してみた。

教育費の年度による大きな変動要因には校舎建築・改修費等が含まれることを考慮する必要はあるが、教育費の一般会計に占める割合は、大井町が20%で、その他は概ね10%前後となっている。

また、サポートスタッフ予算の教育費に占める割合は愛川町が7%を超えているが、大部分は5%未満となっている。

教育費には校舎建築・改修費などの施設設備維持費をはじめ、給食の実施や教育機関の運営費、学校管理費など経常経費が多くを占めている。

各市町村において、サポートスタッフ等の人的措置に係る予算を確保することは、厳しい財政状況の下ではむずかしい。今後も「チーム学校」の推進など市町村費による人的措置が拡大していくことが予測される中で、市町村間の格差解消が課題になっていくのではないかと。

4 国庫補助金等の国による財政補助制度

法令に規定のない非常勤職員（サポートスタッフ）については、国の「委託事業」の外に「国庫補助事業（国庫負担1/3）」として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、補習等のための支援員、理科の観察実験補助員、医療的ケアのための看護師等が配置されている。しかし、スクールカウンセラー以外は、予算定数が限られており、神奈川県でも多くの市町村が自主財源でサポートスタッフを確保している。

なお、特別支援教育支援員、学校図書館担当職員、外国語指導助手、情報処理技術者については単独事業として「地方財政措置」がされている。

「国庫補助事業」の内、理科の観察実験補助員、外国人児童生徒支援員以外は、都道府県、政令市、中核市のみが対象である。

表3は各政令市における国庫補助金等の活用状況で、職種別の予算額のうちの一部が国財源であるが、付記した(%)は予算額に対する国庫補助金等の割合である。なお、政令市以外で国庫補助員等を活用していると回答したのは2市のみであった。

表2 サポートスタッフ(SS)予算の教育費に占める割合等

(平成26年度)(小数点第2位以下四捨五入)

	市町村名	一般会計 (百万円)	教育費 (百万円)	SS予算 (百万円)	教育費/ 一般会計	SS予算/ 教育費
1	横浜市	1,418,208	88,294	3,011	6.2%	3.4%
2	川崎市	617,117	43,973	713	7.1%	1.6%
3	相模原市	257,600	19,002	866	7.4%	4.6%
4	横須賀市	143,990	12,700	500	8.8%	3.9%
5	三浦市	16,271	1,046	17	6.4%	1.6%
6	逗子市	18,543	1,790	79	9.7%	4.4%
7	葉山町	9,190	1,115	25	12.1%	2.2%
8	厚木市	75,480	7,535	247	10.0%	3.3%
9	大和市	77,340	8,960	244	11.6%	2.7%
10	海老名市	41,343	3,924	96	9.5%	2.4%
11	座間市	38,115	3,940	68	10.3%	1.7%
12	綾瀬市	28,660	3,249	101	11.3%	3.1%
13	愛川町	11,987	1,309	93	10.9%	7.1%
14	清川村	2,361	280	14	11.9%	5.0%
15	鎌倉市	60,722	6,108	100	10.1%	1.6%
16	藤沢市	131,287	10,762	283	8.2%	2.6%
17	茅ヶ崎市	67,470	4,467	207	6.6%	4.6%
18	寒川町	13,275	1,172	26	8.8%	2.2%
19	平塚市	81,650	7,736	229	9.5%	3.0%
20	秦野市	46,610	3,494	134	7.5%	3.8%
21	伊勢原市	28,852	2,481	72	8.6%	2.9%
22	大磯町	9,475	960	31	10.1%	3.2%
23	二宮町	7,600	636	35	8.4%	5.5%
24	小田原市	63,800	4,633	163	7.3%	3.5%
25	南足柄市	13,740	1,718	41	12.5%	2.4%
26	中井町	3,757	349	23	9.3%	6.6%
27	大井町	5,020	1,003	23	20.0%	2.3%
28	松田町	3,980	519	27	13.0%	5.2%
29	山北町	4,642	436	16	9.4%	3.7%
30	開成町	4,965	522	9	10.5%	1.7%
31	箱根町	8,542	884	27	10.3%	3.1%
32	真鶴町	3,013	296	12	9.8%	4.1%

表3 国庫補助金等(国財源)活用状況

職種分類	市町村				
	国庫補助等	横浜市	川崎市	相模原市	
1	スクールカウンセラー等	国庫補助金	139,263 (20%)	97,127	254,438
2	心の相談員等				
3	いじめ支援非常勤講師等				
4	スクールソーシャルワーカー等	国庫補助金	19,022 (33%)	16,715	
5	学校司書等	地方財政措置	99,586 (33%)		47,760
6	外国語指導助手等	地方財政措置		307,546	163,023
7	日本語指導員等	国庫補助金	5,900 (4%)	54,320	25,393
8	部活動指導員等	委託費		36,242	7,950
9	ICT支援員等	地方財政措置			29,413
10	学習指導員等	国庫補助金	125,515 (32%)	15,860	
11	通常学級支援員(介助員含む)等			73,000	110,850
12	特別支援学級支援員(介助員含む)等	地方財政措置		8,160	201,070
13	理科支援員等	国庫補助金	20,966 (31%)	15,140	24,655
14	学校体育指導協力者等			7,696	950
15	看護師等	国庫補助金		37,398	
16	安全対策嘱託員等			43,983	
合計予算額(単位:千円)		14%	410,252	713,187	865,502

5 サポートスタッフとの協働の現状について

サポートスタッフとの協働の在り方に関する研究は、多様化・複雑化する教育課題への対応や教職員の多忙化縮減に資することを目的とした。

そのため、サポートスタッフの配置や予算措置状況等の調査を行うとともに、協働の現状や課題を明らかにするため、サポートスタッフ及びサポートスタッフ担当教職員を対象とするアンケート調査やサポートスタッフや学校現場のヒヤリング調査を行った。

サポートスタッフに対するアンケートで、「現在の仕事にやりがいを感じているか」等について尋ねたところほぼ全員が肯定的な回答をした。(表4)

表4 現在の仕事にやりがいを感じている

1 とても思う	58	55.8%
2 やや思う	43	41.3%
3 あまりそう思わない	3	2.9%
4 全くそう思わない	0	0.0%

現在の仕事が学校にとって有益である

1 とても思う	44	42.3%
2 やや思う	58	55.8%
3 あまりそう思わない	2	1.9%
4 全くそう思わない	0	0.0%

担当教職員に対するアンケートでは「学校の総合力を高めるためにサポートスタッフが役立っているか」等について尋ねたところ肯定的な回答は96%で、「専門性が発揮される」や「児童生徒の成長・発達への寄与」を高く評価している。(表5)

表5 学校の総合力を高めるためにサポートスタッフが役立っているか

1 とても思う	19	76.0%
2 やや思う	5	20.0%
3 あまりそう思わない	1	4.0%
4 全くそう思わない	0	0.0%

役立っていると感じる理由

1 教職員が子どもと向かい合う時間増	10	40.0%
2 サポートスタッフの専門性が発揮される	22	88.0%
3 学校と地域の連携が進んだ	2	8.0%
4 児童生徒の成長・発達に寄与	14	56.0%
5 その他	1	4.0%

サポートスタッフは非常に高いモラルを持って職務を遂行し、担当教職員においてもサポートスタッフの有用性を高く評価している。

一方、多忙化解消に役立っているか尋ねたところ、否定的な回答が40%あり、その理由として書類作成が煩雑が20%、打ち合わせに時間がとられるが16%であった。

また、担当教職員にサポートスタッフとの協働をすすめるための課題について聞いたところ、多くの項目について課題があるとした。しかし、他の設問で、さらに多くのサポートスタッフの配置が

必要か聞いたところ、肯定的な回答が72%であった。(表6)

表6 今後、サポートスタッフと協働した学校づくりをすすめていくための課題について必要なもの

1 管理職の理解・連携協力	14	56.0%
2 教職員の理解・連携協力	15	60.0%
3 教職員とのコミュニケーションの充実	20	80.0%
4 校内連絡会議等への参加	5	20.0%
5 サポートスタッフ専用のスペースの確保	9	36.0%
6 サポートスタッフ専用のコーディネータの配置	10	40.0%
7 地域保護者の協力	5	20.0%
8 児童生徒の理解	3	12.0%
9 人材の確保	18	72.0%
10 特になし	0	0.0%
11 その他	2	8.0%

6 課題の解決と協働の推進に向けて

本調査を通じ、サポートスタッフの方々はやりがいに支えられて高いモラルを維持して職務を遂行し、校長や教職員は学校の総合力を高めるためサポートスタッフの配置拡充を求めていることがわかった。

一方、教職員とのコミュニケーションの充実や管理職や教職員の理解・連携協力、人材確保、処遇等様々な課題もあることが分かった。

＜サポートスタッフの勤務条件改善を＞

専門職等を除けば月給制はほとんどなく、日額や時給が多く、月額等でも時給換算で1,000円前後が多数である。また、非常勤等による雇用のため社会保険の適用もなく、将来の不安に繋がっている。

特に、常勤化が求められる職種にあっては、正規職員化や月給制等、勤務条件の改善が必要である。

＜国による定数化の推進と財政支援拡充を＞

自治体の規模や財政力によって、配置する職種数や配置人数(時数)、または処遇等に格差が生じる可能性がある。

チーム学校の体制整備も含め、サポートスタッフの定数化の推進や国庫補助金等による国の財政支援の拡充が求められる。

＜協働性推進に向けた連携とマネジメントを＞

多忙化の中で、サポートスタッフとの協働性を推進するために重要な点は、教職員の理解に基づいたコミュニケーションの充実であろう。

その上で、サポートスタッフを含む教職員配置の最適化や協働に向けたマネジメントの成功が、学校の総合力を高め、児童・生徒のより良い学びを保障するとともに、教職員の多忙化・多忙感縮減に繋がると思われる。